

産業情報学科

《 経営情報 コース 》



中澤 真 (ナカザワ マコト)

教授

【講座リストNo.16,33,34,35,

専門分野：人工知能、教育工学、ビッグデータ分析

No.36,37,38,39】

鉄腕アトムやドラえもんのように、自ら学習するような機械を作りたいという子どもの頃の夢から私の研究は出発しました。このような知的な機能は人工知能と呼ばれ、近年ではスマート家電やスマートフォンなど身近な製品に組み込まれ、多くの人々が日常的に利用するようになりつつあります。私はこれらの一般的な応用例に加えて、人工知能技術の教育分野への応用研究に取り組んでいます。

平澤 賢一 (ヒラサワ ケンイチ)

教授

【講座リストNo.41,42,43】

専門分野：経営学（国際経営論・人的資源管理論）

最近、ゼミの学生と共に福島県内の老舗中小企業の経営理念を調査して参りました。明文化した経営理念の「ない」企業にもある特徴があることが分かりました。従来からの上場企業のIR（投資家向け広報）部門に関する調査研究や、外資系企業のマネジメントについても、並行して調査研究を続けています。「障害者雇用」については、ゼミの学生たちと長年調査研究をしており、近年は、ダイバーシティ・マネジメントという括りで考察しています。キャリア教育の分野にも関心の幅を広げております。



木谷 耕平 (キヤ コウヘイ)

准教授

【講座リストNo.18,19,20】

専門分野：経済学（財政学、地域経済学、幸福の経済学）

政府の債務がなぜ蓄積するのかに関心を持ち、幸福度や生活満足度などの主観的なデータや実験によって得たデータを使って、人々の財政への好みや認識を研究しています。かつては政府系機関で、発展途上国が政府債務を返済できるのかを分析する仕事に携わっていました。また、北海道の地方都市で商工会議所による地域活性化策の策定などに関わった経験から、地方の人口減少やその対応策にも強い関心があります。



成澤 徳子 (ナリサワ ノリコ)

准教授

【講座リストNo.17,22,150】

専門分野：地域研究、文化人類学・民俗学、社会調査

学生時代からアフリカに関心を持ち、ザンビアの農村で長期フィールドワークを実施し、女性の生業とジェンダー関係の再編について研究してきました。日本の大学オフィスを現地に開設し、アフリカ学生の日本留学と日本人学生のアフリカでの活動を支援する人材交流事業にも従事しました。日本では、徳島県や秋田県の集落を対象として、食文化や伝統行事の継承に関わる調査研究に取り組みました。現在は会津地域を中心に活動し、地域文化の保全・継承と産業振興の観点から、人口減少・少子高齢化時代における地域活性化の方途を検討しています。



八木橋 彰 (ヤギハシ アキラ)

准教授

【講座リストNo.23,24,44,45,46】

専門分野：マーケティング論、流通論、消費者行動論

地方創生・地域活性化を大きなテーマに掲げて研究をしています。買物弱者問題、流通問題、中心市街地活性化などを中心に扱っていますが、最近では、地域資源のブランディング方法やスポーツ・ツーリズムやeスポーツなどのスポーツを起点とした地方創生・地域活性化についても研究対象としています。

産業情報学科

《 デザイン情報コース 》



柴崎 恭秀 (シバサキ ヤスヒデ)

教授

【講座リストNo.48,49,50】

専門分野：建築・都市計画、アート計画

県産杉間伐材を活用した住宅デザインや遊具、環境装置等のデザイン・製作を続けてきました。東日本大震災では福島県で供給した木造応急仮設住宅の総括アドバイザーを務め、また、震災によって全壊した蔵を美術館・ギャラリーに再生する活動や商店街の修景、会津若松市の景観形成等にも取り組んでいます。2019年は全国高専デザコン2019審査員長を務めました。建築デザイン、再生保存や景観デザイン等、研究領域を展開していきたいと考えています。



高橋 延昌 (タカハシ ノブマサ)

教授

【講座リストNo.51,52】

専門分野：色彩教育、デザイン教育

色や形といった基礎造形を中心に研究していますが、学生達と一緒に実社会と関わり、地域に根ざしたゼミ活動も幅広くおこなっています。学生達のアイデアで商品化されたパッケージやキャラクターなどもあります。所属学会は日本基礎造形学会(委員)、日本色彩教育研究会(理事)、日本デザイン学会(正会員)です。福島大学人間発達文化学類の非常勤講師も務めています。主な資格はCG認定講師、1級色彩コーディネーターなど。



横尾 誠 (ヨコオ マコト)

准教授

【講座リストNo.40,53,54】

専門分野：インターフェースデザイン

近年様々な形態と機能で登場する情報端末ですが、それらを用いたWebコンテンツの活用方法について研究しています。また、アイトラッキング装置を入力デバイスとして活用したインターフェースデザインの研究を行っています。



吾子 可苗 (アコ カナエ)

准教授

【講座リストNo.66】

専門分野：漆芸

漆芸技法の中でも特に乾漆造形を中心に、国内外の美術館やギャラリーにて作品発表および制作活動を行ってきました。漆という素材の可能性を探求しながら、伝統的な技法と現代的な表現を融合させた作品を制作しています。

また、漆と社会との関わりを重要視し、地域に残る伝統文化との調和や再発見をテーマにした活動にも取り組んでいます。漆を通じて、地域文化の継承と発展に貢献することを目指しています。



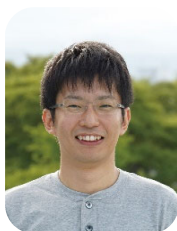
沈 得正 (シム テークチン)

准教授

【講座リストNo.55,56,57,58】

専門分野：プロダクトデザイン、感性価値デザイン

大学では、プロダクトデザインの要素として、造形、機能、使いやすさについて学びました。大学院からは、人々の感覚的特性に着目した「感性価値デザイン」を研究しています。特に、染色や凹凸模様を活かした竹材・木材の有効利用に取り組み、デザインへの応用を探求しています。本学に着任後は、福島県の素材や文化にも視野を広げ、地域の特性を活かした商品のデザイン・開発を進めています。



北本 雅久 (キタモト ガク)

准教授

【講座リストNo.59,60,61,62,63】

専門分野：グラフィックデザイン

これまでグラフィックデザイナー、美術館学芸員として展覧会やアートイベントに関する企画及び造形活動に携わってきました。現在はポスター表現を軸として、グラフィックデザイン全般の制作研究をしています。多くの人が、グラフィックデザインに興味を持ってもらえる楽しいプログラムを実施します。

食物栄養学科



左 一八 (ヒダリ カズヤ)

教授

【講座リストNo.67】

専門分野：生化学、糖鎖生物学、ウイルス学

これまで、生物がもつ糖質の構造と機能について研究を行ってきました。糖質は生体にとって必須のエネルギーになるばかりでなく、細胞と細胞間のコミュニケーションに利用されたり、病原微生物の体の中への侵入の目印として利用されたりなど多彩な生物現象に関わることがわかってきています。食品に含まれる機能性糖質成分の構造と生体内での利用について興味を持っています。



漆谷 博志 (ウルシタニ ヒロシ)

教授

【講座リストNo.68,69】

専門分野：比較内分泌学、分子生物学

現在まで、主にホルモンや、ホルモンに似た働きをする物質である、いわゆる“環境ホルモン”の生物に対する影響や、どのようにして影響を及ぼすのかについて、魚や貝などの水棲動物を用いて研究を行ってきました。生命と環境の関わり、特に生殖に関して興味を持っています。



加藤 亮 (カトウ マコト)

准教授

【講座リストNo.70,88,89】

専門分野：栄養教育、公衆栄養、食事調査

これまで、保健センター、大学病院等で糖尿病や脂質異常症、肥満などの対象者に栄養指導を実施し、主に地域で行われている保健活動のプログラム開発や評価方法を検討してきました。現在はICタグとフードモデル、PCを組み合わせた新しい栄養指導ツールの開発や加速度計を使った身体活動量の把握と評価に関する研究を行っています。誰もが「おいしい、楽しい、バランスのよい」食生活をおくれるように手助けする方法を研究中です。



横田 由香里 (ヨコタ ユカリ)

准教授

【講座リストNo.71】

専門分野：スポーツ栄養

スポーツ時の栄養補給法について（基本の食事、身体づくりとたんぱく質摂取、骨づくりとカルシウム摂取、貧血予防と鉄・たんぱく質摂取、コンディショニングとビタミン、エネルギー補給と糖質摂取、増量・減量、サプリメント、水分補給、試合時の食事等）



室井 弘子 (ムロイ ヒロコ)

講師

【講座リストNo.90】

専門分野：給食経営管理

給食経営のマネジメント業務が主な研究テーマです。長年の総合病院勤務の中で、NST（栄養サポートチーム）を発足し、そのチーム活動の裏支えとなるフードサービスとして、東北で初のニュークックチルシステムを立ち上げ、その後、地域密着型の栄養支援活動をしていました。人間の命を支え、尊厳を守り育み、「食」で人々を幸せにするフードサービスの構築には、栄養士・管理栄養士の人材育成がとても重要です。人々を健康に幸せに豊かにするための「フードサービス」を、地域とともに研究していきたいと思えます。



水尾 和雅 (ミズオ カズマサ)

講師

【講座リストNo.91,92】

専門分野：調理学

これまで、加熱調理器の違いが食品へ及ぼす影響、約一年間の調理実習を経験することが塩味に対してどのような影響を与えるのかなどを研究してきました。現在は、日本酒を作るときに発生する「白糠（酒米の米粉）」の特徴や利用方法についての検討や、過去と現在における調理器具の違いが調理法や料理にどのような影響を与えているのかを検討しています。これからも調理に関係する事柄について研究を進めていきたいと考えています。何事も難しく考えず、楽しく考えることをモットーに頑張っていきます。

食物栄養学科

阿部 桂子(アベ ケイコ)

助手

【講座リストNo.25,93,94】



専門分野：給食管理

人の健全な食生活の基盤は持続可能な環境です。食育においても、食を支える環境の持続に資する取組の重要性が増しています。2021年から地域の仲間と共に実際に畑を耕し、生産の現場である農と食、地域との関わり、それらを取り巻く様々な課題について解決方法を探っています。「食と環境との調和」「農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの深化」「和食文化の保護・継承」を通じて、持続可能な食を支える食育を推進しています。

平野 真唯(ヒラノ マイ)

助手

【講座リストNo.95】



専門分野：栄養学

これまで日々の食生活が様々な病気を引き起こす要因にもなり、反対に病気の予防にも深く関連していることを学んできました。これからは特殊な労働環境下で働く方々の不規則になってしまいやすい食生活を見直し、改善に向けたサポートや、食生活が原因で引き起こされる病気の予防に繋がる研究活動に励んでいきたいと考えています。そこから人々の健康志向が高まる現在に、役立つ知識や方法の普及となる活動を展開していきたいです。

鈴木 理子(スズキ リコ)

助手

【講座リストNo.72】



専門分野：栄養教育、給食経営管理

「縁の下の力持ちとして人々を支えたい」という想いから管理栄養士を志し、クックチル方式の給食会社にて現場経験を積んだのち、本学に着任いたしました。農家に生まれた背景と、こども食堂や市民講座を通じた社会貢献の経験から、現在は地域の食環境に関心を寄せています。会津の特色を活かした食環境研究を通じ、地域社会に貢献していきたいと考えております。

幼児教育・福祉学科



木村 淳也 (キムラ ジュンヤ)

教授

【講座リストNo.104,105】

専門分野：ソーシャルワーク

大学卒業後、会社員から特別養護老人ホームの介護職員へ転身しました。特別養護老人ホームでは、介護職員と生活相談員を経験しました。その後、専門学校、大学において介護福祉士、社会福祉士の養成教育を経験したのち、本学に着任しました。

現在は、社会福祉士、保育士、幼稚園教諭二種の養成教育にかかわりつつ、学校福祉領域においてスクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーとして活動しています。



郭 小蘭 (カク ショウラン)

教授

【講座リストNo.120,121】

専門分野：保育実践、心理臨床、子育て

幼児教育現場で実践されているごっこ遊びについて調べて研究しています。また、子どもの遊び意欲を惹きつける手作り遊具の研究もしています。



河原田 潤 (カワラダ ジュン)

教授

【講座リストNo.122,123,151】

専門分野：音楽、器楽合奏、子どもの音楽

保育現場に関わる「音楽」が専門分野です。特に現在も活動中のコントラバス奏者として、オーケストラ・室内楽等の職業演奏活動を通じて得た経験や技術を生かして、保育現場で用いられる楽器の扱い方や、楽器を使った合奏等の表現活動について研究をしています。



若林 達司 (ワカバヤシ タツジ)

教授

【講座リストNo.152,153】

専門分野：英語文学、英語教育

大学入試センター試験が大きく変わり、2021年1月には大学入学共通テストが始まりました。それに伴って外国語（英語）では聞く、話す、読む、書くといういわゆる4技能を測定する民間試験が導入されることが決まっています。これから何をどんな風に勉強したらいいのでしょうか。大学で英語教育に長く携わってきた経験から、この派遣講座では英語のこと、語学学習のことをワークショップ（その場で実際にトレーニングする！）を交えながらお話ししたいと思います。

吉田 亜矢 (ヨシダ アヤ)

准教授

【講座リストNo.124,125,126】

専門分野：幼児教育学 心理学 保育相談 子育て支援

乳幼児の発達と家庭環境および母親のかかわりとの関連等、子育て支援に関する研究を行っています。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校のスクールカウンセラーとしての心理臨床経験および保育者としての保育実務経験をもとに保育・教育相談、子育て相談を行います。



五十嵐 一徳 (イガラシ カズノリ)

准教授

【講座リストNo.127,154】

専門分野：特別支援教育、障害児保育、応用行動分析学

知的障害を伴う自閉スペクトラム症のある子どもを対象にセルフマネジメントスキルの育成を目的とした研究を行ってきました。臨床実践として、知的障害あるいは発達障害のある子ども一人ひとりに合った支援を応用行動分析学の視点からカスタマイズして実施してきました。

幼児教育・福祉学科



葉山 亮三 (ハヤマ リョウゾウ)

准教授

【講座リストNo.1,No.2,No.3,No.106,
No.128,No.129,No.130,No.131,No.132,
No.133,No.134,No.135,No.136,No.137】

専門分野：造形教育

美術研究所こども教室に11年勤め、また美術館などのワークショップ講師を経験し、こども達との造形を研究してきました。会津に来て10年経ちまして、会津の素材や地域性に合わせた教材の提案にも取り組んでいます。造形教育はこどもとともに作り、進めて行くものと考えています。こどもとともに発見したり、感動したりしながらものを表現する楽しさ、表現する術を身につけて、心豊かな感性を育てていきます。



渡部 琢也 (ワタナベ タクヤ)

講師

【講座リストNo.73,138,139,140】

専門分野：運動生理学、発育発達学、トレーニング科学、スポーツ科学

幼児期および児童期の体力・運動能力について研究を行っています。愛知県教育委員会子どもの体力向上支援委員会委員として「小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動(遊び)」を作成し講習会を実施しました。硬式野球や女子サッカーのコーチそして幼児、児童を対象とした子どもの教室にて実技指導も行っていました。また、市町村の介護予防教室の実施及びコーディネートを実践してきました。最近では子どもから高齢者の筋肉量の測定をし、健康寿命延伸について、市町村や企業、教育委員会や学校とも連携して研究を深めています。



佐々木 誠二 (ササキ セイジ)

講師

【講座リストNo.107,141,142,
143,144,145,146】

専門分野：ソーシャルワーク、子ども家庭福祉

大学卒業後、地域包括支援センターや児童相談所、児童自立支援施設で勤務したのち、本学に着任しました。今、子どもたちを取り巻く環境は虐待、貧困、いじめ、不登校など厳しい状況にあると言えます。そのような子どもたちを支援する「児童相談所」のあり方について研究をしています。



高田 正哉 (タカタ マサヤ)

講師

【講座リストNo.108,109,110,
147,148,149,155】

専門分野：教育学(道徳教育、子どものための哲学)

みなさんは、「教育」「学び」に、どのような印象がありますか？私は、教育学を専門としています。「教育」「学び」で、子ども、地域住民、障がいのある人、あらゆる人が幸せになるためにどのような形になるとよいかを探究しています。そこでの私の考えは、「共に学び合う」ことの大切さです。私の講座では、みなさまに私から「教える」ということばかりではありません。みなさまと共に、私自身が考え、対話する。そのような対話の中で参加者同士で、参加者と講師で考えを深めていく公開講座にしていければと思っています。みなさまのコミュニティに入れることを、心より楽しみにしております。

特任研究員・研究員



牧田 和久 (マキタ マサヒサ)

特任研究員 【講座リストNo.26,64,65】

専門分野：室内計画、建築計画、住環境計画

室内計画や住環境計画を中心に、住生活と人間工学、住宅機器や家具類の商品企画、住まいの安全や住まい方などのインテリアデザインに関わる諸問題から、都市景観やまちづくりなどといった広範な地域の課題について興味を持ち研究してきました。最近では、住生活と住宅政策、中心市街地や中山間地域の活性化やまちづくり、空き家問題とその利活用などについて研究しています。



森 文雄 (モリ フミオ)

特任研究員 【講座リストNo.27,28,29,30,

31,32,74,75,76,77,111】

専門分野：マーケティング、地域経営論、観光学、農業経済学、健康経営学、生涯学習論、社会教育論

マーケティングをベースにして、中山間地域農山村問題、地場産業、中心市街地、地域ブランド、ニューツーリズムなどをキーワードにした地域経済の活性化について調査研究をしています。加えてグローバル経済化時代及び人生百年時代に通用する地域資源を活用した内発的発展や高齢者の生涯学習や社会教育による自立性強化に地域を持続可能性やウェルビーイングについても研究しています。



安江 俊二 (ヤスエ シュンジ)

特任研究員 【講座リストNo.78,79,80,81,82】

専門分野：生化学および運動生理・生化学

研究内容は、基礎的な研究として、身体の中の代謝の仕組みや酵素の働きなどの生命現象を生化学的に研究しています。応用面では、メタボリックシンドロームや生活習慣病、がん、フレイル等を予防し健康を増進するための方法について研究しています。特に、内臓肥満の予防と改善について、運動と代謝の観点から研究しています。最近は、「老化と寿命」のメカニズムと対策についても研究しています。



眞鍋 久 (マナベ ヒサシ)

特任研究員 【講座リストNo.83,96,97,98,

99,100,101,102,156,157】

専門分野：食物科学、植物栄養学

大学および大学院で「農芸化学」を学ぶ。卒論は「光合成細菌の脂肪酸代謝」を研究テーマとし、修論および博論では「水稻(イネ)におけるD-アミノ酸の代謝」について取りまとめる。その後、栄養士養成施設、農学部および農学研究科、管理栄養士養成施設の教員として専門領域の教育・研究にあたる。出前講座(高校(母校))および教養講座(社会福祉事業団)を担当。派遣講座のテーマは次のとおり。「食と健康」「大豆の魅力」「作物のもたらす栄養成分」「果物の効用」「D-アミノ酸と食物」「呼吸と発酵」「発酵食品の魅力」「水あめのおはなし」「地表における食物成分の循環」「食べ物の栄養素を化学の目でとらえてみませんか。」



石光 真 (イシミツ マコト)

特任研究員 【講座リストNo.21,112,158】

専門分野：経済学

経済とはお金のことに関する学問です。社会保障や電力経済について分かりやすく説明します。

特任研究員・研究員



市川 和彦 (イチカワ カズヒコ)

特任研究員 【講座リストNo.113,114,115,

専門分野：障がい者福祉、障がい児保育、発達障害幼児療育法

116,117,118,119】

知的障がい者施設、知的障がい児施設、児童養護施設での援助職の経験から、専門職者による利用者児への虐待の問題に取り組んできました。現在は援助者が虐待に至る一要因としての利用者児からの暴力、他傷をどう理解するかとともに、予防、対処のための具体的スキル構築に向けて取り組んでいます。現場の方々ぜひご協力いただき、この課題について共に取り組んでいきたいと願っています。



鈴木 秀子 (スズキ ヒデコ)

特任研究員 【講座リストNo.84,85,86,87】

専門分野：公衆栄養、栄養教育・指導

皆さんは楽しく食べていますか？おいしく食べていますか？健康に食べていますか？毎日、おいしく楽しく、そして健康に食べることは、心身の健康だけでなく、生活の質の向上につながります。幼稚園・保育所や学校における食育、公衆栄養、地域組織（食生活改善など）の育成支援について研究してきました。現在は子どもの食育、栄養改善活動に取り組んでいます。



小林 未希 (コバヤシ ミキ)

特任研究員 【講座リストNo.103】

専門分野：給食経営管理

これまでは、澱粉老化・たんぱく質凝固・脂質の酸化・褐変等の抑制効果が高いトレハロースを用いて、より質の高い給食提供へ向けた大量調理法について検討してきました。

現在は、腸内環境とメンタルヘルスとの関連について研究しています。消化管の不調は脳に影響を与えて精神的なストレスを誘発し、また、ストレスを感じると胃腸の調子が悪くなるように、脳と腸は相関しています。食生活が腸内細菌叢へ及ぼす影響に興味を持っています。



関谷 央子 (セキヤ ヒサコ)

研究員 【講座リストNo.4,5,6,7,8,9,10,

専門分野：防災教育、キャリア教育、ファシリテーション

11,12,159】

新潟県長岡市の防災関連団体で防災教育推進事業を担当し、新潟県防災教育プログラム制作事務局、地域と学校をつなぐコーディネーター業務に携わりました。2021年から会津若松市地域学校協働活動推進員として防災教育コーディネーターを担い、子どもたちの「主体性」を育むことをねらいとして、小中学校での授業支援、放課後子ども教室や市町村防災部局や公民館と連携した防災講座を実施しています。また、地域と学校をつなぎ、子どもたちの「生きる力」を育む人材を育成するため「防災教育コーディネーター養成塾」を企画・運営し、これまでに約120名の修了生を輩出しました。防災を通じた豊かな地域づくりを目指し、対話やファシリテーションの重要性についても伝えています。

【資格】防災士、認定キャリア教育コーディネーター、ホワイトボード・ミーティング®（ベーシックコース）認定講師。